

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2006年3月20日号 No.036

今月のキーワード：重要文化財建造物修理工事における広報等支援

徒然想

春眠暁を覚えず。春になると、眠気が強くなると言う人がいらっしゃいます。どうやら、季節の変わり目による気温の変化などに自律神経が対応しきれないのが原因のひとつだそうです。近年では花粉症治療薬の影響で眠気を催すケースも増えているようです。幸いにも今年の花粉飛散量は少ないと聞きます。しかし、昨年の観測史上最高の花粉飛散で体に花粉を多く取り込んだ為、今年はずかな花粉で花粉症を発症してしまう方もいらっしゃるかと。弊社にも、眠い目をこすりながら花粉症対策のマスクをつけて日夜仕事に奮闘している社員の姿が見受けられます。「春の海終日のたりのたりかな」と謝蕪村の句ですが、納期に追われがちなこの季節にはちょっと羨ましい風景です。



眠りの常識

KRC TECHNICAL TOPICS

重要文化財 熊谷家住宅修理工事における広報等支援業務

重重要文化財 熊谷家住宅(島根県大田市)は、石見銀山で栄えた大森の町並みにあり、主屋は通りに西面する町内で最大級の規模を誇る町屋です。1998年に敷地約1,500㎡と主屋、北道具蔵、衣裳蔵など六棟が重要文化財に指定されましたが、外壁が剥がれ落ちるなど老朽化が著しかったため、2001年12月より、修理(復原)工事が開始されました。この工事では、屋敷の景観が整った江戸末期から明治初年の姿に復原・修理され、2005年に工事が完了しました。

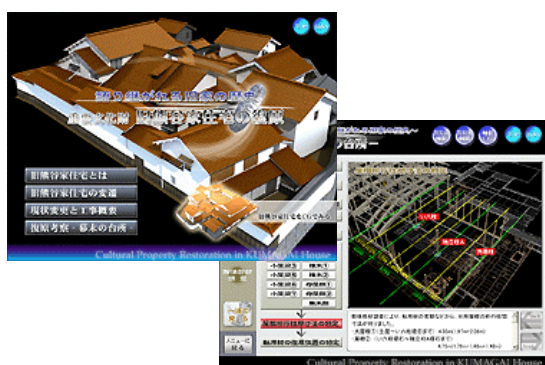
一般に、文化財建造物の修理(復原)工事では、建造物の現状を変更する場合、現状変更申請(変更箇所とその根拠を示したもの)が必要となります。しかし、その内容は、非常に複雑で専門的な知識が必要であるため、理解が難しく、その内容を専門知識のない一般の人々に対しても、分かりやすく伝えることが重要となっています。



熊谷家住宅外観(修理後)



熊谷家住宅CG(明治5年当時)



パソコン紹介システム画面

そこで、本業務では、CGなどを駆使し、それらの内容を分かりやすく表現したパソコン用紹介システムを作成しました。本システムでは、現状変更に関する内容以外に、熊谷家住宅の変遷や、修理工事前後の写真などについても紹介しています。

→ 詳細[http://www.krcnet.co.jp/f_works063.htm]

熊谷家住宅は来月4月22日から一般公開されます。本システムも同住宅に展示されますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp ホームページ: http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm で承っております。